



SUPER
FORMULA

PRESS INFORMATION



2014年11月4日

株式会社日本レースプロモーション

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第7戦

第13回JAF鈴鹿グランプリ 選手権概要

株式会社日本レースプロモーション（代表取締役社長 白井 裕、所在地：東京都千代田区）は、11月8日（土）～9日（日）の2日間、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコースで開催される「2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第7戦 第13回JAF鈴鹿グランプリ」について選手権概要を発表する。

シリーズ最終戦となる本大会は、鈴鹿サーキットでは28年ぶりにJAFグランプリとして開催される。今回のレースフォーマットは2レース制で、予選は従来同様のノックアウト方式で行われる。レース1のグリッドはQ1の結果で決定し、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（1周5、807m）を20周、トータル116.140kmで争われる。またレース2のグリッドはQ3までの結果で決定し、同レーシングコースを28周、トータル162.596kmで争われるとともに、レース途中タイヤ交換（4輪同時）のためのピットインが1回義務付けられている。そのためドライバーの力量だけではなく、刻々と変化する状況に応じて臨機応変に対応するチームカモ、勝敗に大きく影響することとなる。

今シーズンも最終戦を迎え、年間チャンピオン・タイトルの行方に注目が集まる。第6戦終了時点での順位は、今季1勝、他のすべてのレースでポイントを獲得している中嶋一貴（ペトロナス・チーム・トムス）が33ポイントでトップ。2番手には今季2勝を挙げているジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ（レノボ チーム インパル）が29ポイントで続き、3番手にはアンドレ・ロッター（ペトロナス・チーム・トムス）とロイック・デュバル（キグナス スノコ チーム ルマン）が今季各1勝を挙げ同ポイントの26.5ポイントで続いている。チャンピオン経験のある4人がわずか6.5ポイントの差で最終戦を迎えることとなる。続く5番手には石浦宏明（プロミュー/セルモ・インギング）が23ポイントで続き、6番手にはジェームス・ロシター（コンドーレーシング）が20.5ポイントで続く。2レース制の場合、選手権ポイントは1レース制の半分となるが、最終戦の鈴鹿大会にかぎり、優勝者には通常ポイントとは別に各3ポイントが与えられるため、2レースともポールポジションを獲得し優勝した場合、最大18ポイント獲得が可能となる。そのためトップから-16ポイント差、7番手で追う国本雄資（プロミュー/セルモ・インギング）を含め7人にチャンピオン獲得の可能性がある。

また開幕戦の鈴鹿大会予選ではコースレコードを更新しているが、本大会で更にレコードタイムが更新される可能性が強い。最速のレースを制し、初のスーパーフォーミュラシリーズチャンピオンの栄冠に輝くドライバーは誰になるか。JAFグランプリに相応しい好レースが期待される。



第3戦富士大会を制した中嶋一貴（ペトロナス・チーム・トムス）

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI **J SPORTS** **スカパーJSAT** **セディナ** **DNP** 大日本印刷 **人脈酒造**

エントリーリスト

NO.	ドライバー 生年月日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto 1988. 7. 11 日本 (栃木県)	TEAM 無限 (チーム無限) 手塚 長孝	TEAM 無限 SF14 (Honda HR-414E)
2	中山 友貴 Yuhki Nakayama 1987. 7. 29 日本 (石川県)		
3	ジェームス・ロシター James Rossiter 1983. 8. 25 イギリス	KONDO RACING (コンドーレーシング) 近藤 真彦	フジ・コーポレーション KONDO SF14 (TOYOTA R14A)
7	平川 亮 Ryo Hirakawa 1994. 3. 7 日本 (広島県)	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チーム ルマン) 土沼 広芳	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
8	ロイック・デュバル Loic Duval 1982. 6. 12 フランス		Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi 1986. 11. 20 日本 (栃木県)	HP REAL RACING (エイチピー リアル レーシング) 金石 勝智	HP SF14 (Honda HR-414E)
11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi 1981. 8. 6 イタリア		
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama 1991. 7. 25 日本 (東京都)	KCMG (ケーシー エム ジー) 土居 隆二	KCMG Elyse SF14 (TOYOTA R14A)
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira 1981. 7. 13 ブラジル	Lenovo TEAM IMPUL (レノボ チーム インパル) 星野 一義	Lenovo TEAM IMPUL SF14 (TOYOTA R14A)
20	クマール・ラム・ナレイン・カーティクヤン Kumar Ram Narain Karthikeyan 1977. 1. 14 インド		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima 1989. 1. 29 日本 (愛知県)	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング) 中嶋 悟	NAKAJIMA RACING SF14 (Honda HR-414E)
32	小暮 卓史 Takashi Kogure 1980. 8. 1 日本 (群馬県)		
34	伊沢 拓也 Takuya Izawa 1984. 6. 1 日本 (東京都)	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ) 道上 龍	DRAGO CORSE SF14 (Honda HR-414E)

NO.	ドライバー 生年月日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer 1981. 11. 19 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス) 舘 信秀	PETRONAS TOM'S SF14 (TOYOTA R14A)
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima 1985. 1. 11 日本 (愛知県)		
38	石浦 宏明 Hiroaki Iishiura 1981. 4. 23 日本 (東京都)	PMU/CERUMO/INGING (プロミュー/セルモ・インギング) 立川 祐路	PMU/CERUMO/INGING SF14 (TOYOTA R14A)
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto 1990. 9. 12 日本 (神奈川県)		
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri 1989. 9. 15 日本 (茨城県)	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライアン レーシング) 村岡 潔	DOCOMO DANDELION M40T SF14 (Honda HR-414E)
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh 1982. 10. 6 日本 (東京都)		DOCOMO DANDELION M41Y SF14 (Honda HR-414E)
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga 1983. 4. 25 日本 (愛知県)	TOCHIGI Le Beausset Motorsports (とちぎ・ル・ボーセ モータースポーツ) 坪松 唯夫	DENSO Le Beausset SF14 (TOYOTA R14A)

2014年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P. P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. : ポールポジション (予選1位) には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには計算されない。

1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*最終戦 (第7戦) 鈴鹿大会に限り、レース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム (エントラント) が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

—ご参考—

1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レース。一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。

2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオン ドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより、賞金とシリーズ ドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付される。また年間チャンピオンチームには、経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与される。

3. レース車両 (SF14)

今シーズンより新型車両 (SF14) を導入。シャシーはダラーラ・オートモビル社 (イタリア) 製でタイヤはブリヂストンのワンメイク。新開発エンジンは排気量2リッター、直列4気筒直噴ターボ過給エンジンでHonda HR-414EまたはTOYOTA R14Aを使用する。

4. オーバーテイクシステム (OTS)

燃料リストラクターシステム (燃料流量規制システム) を活用し、約20秒間燃料供給量を上げて約5%エンジン出力をアップさせ、オーバーテイクを補助するシステム。ステアリングにあるボタンで操作し、本大会では決勝レース中5回まで使用できる。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ (リーダーズレッド) を装着している。OTSはスーパーフォーミュラ独自の仕組み。

5. 公式予選 (ノックアウト方式)

土曜日に行われる予選はノックアウト方式で行われ、Q1、Q2、Q3と、計3回の予選が行われる。本大会のように20台エントリーの場合にはQ1 (20分間) で15位から20位のスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2 (7分間) を行い9位から14位のスタート位置を決定する。さらに10分間のインターバルの後Q3 (7分間) を行い、1~8位までの決勝レーススタート位置を決定する。文字通りの好タイムが出なければ脱落することから、ノックアウト方式 (勝ち抜き戦) と呼ばれる。

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 12~13	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/ 17~18	第2戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	2レース制
7/ 12~13	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/ 23~24	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/ 13~14	第5戦/オートポリス	ノックアウト	220km
9/ 27~28	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/ 8~ 9	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

大会概要

- 大会名称：2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 第13回JAF鈴鹿グランプリ
- 開催日：2014年11月8日(土)～9日(日)
 - 予選スタート 11/8(土) 13:30～
 - レース1決勝スタート11/9(日) 10:10～(20周)
 - レース2決勝スタート11/9(日) 15:00～(28周)
- 開催地：鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)
 - レース1決勝レース距離：5.807km/1周×20周=116.140km
 - レース2決勝レース距離：5.807km/1周×28周=162.596km
- 主催：名古屋レーシングクラブ(NRC)/鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) 株式会社モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA)/社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定：株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援：観光庁/三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所/東京中日スポーツ/中日スポーツ/中日新聞社

チケット購入/お問い合わせ

- 前売観戦券(2日間有効)*11月7日(金)も入場可
 - 大人 ￥4,000(ゆうえんちモートピアパスポート1日付)
 - 中・高校生 ￥1,700(入場のみ)
- *観戦情報、チケットなどの詳細は、鈴鹿サーキットホームページ(<http://www.suzukacircuit.jp/>)をご参照ください。

TV放映

- {お願い} 放送日、放送時間は予告なく変更される場合がありますので、SF公式ホームページ(<http://www.superformulanet/>)でご確認ください。
- 「J SPORTS」：全戦決勝レースをライブ中継。また決勝レースのリポート放送やレースダイジェスト番組も放送。
 - ・11月8日(土) 13:00～15:00 全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 予選(生中継) Ch: J SPORTS 3
 - ・11月9日(日) 10:00～12:00 全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 決勝レース1(生中継) Ch: J SPORTS 3
 - ・11月9日(日) 14:30～18:00 全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 決勝レース2(生中継) Ch: J SPORTS 3
 - *リポート放送、レースダイジェスト番組は、スーパーフォーミュラオフィシャルウェブ(<http://www.superformulanet/>)またはJ SPORTSホームページ(<http://www.jsports.co.jp/>)にてご確認ください。
 - 「BSフジ」：大会ごとに55分間の「スーパーフォーミュラ」特集を放送。
 - ・11月16日(日) 17:00～17:55(本放送)
 - ・11月22日(土) 16:00～16:55(再放送)
 - フジテレビONE/TWO/NEXT 「スーパーフォーミュラTV」
 - ・11月14日(金) 22:30～23:00 第7戦・鈴鹿大会/ハイライト(NEXT)
 - *リポート放送の放送日、放送時間はフジテレビオフィシャルウェブ(<http://www.fujitv.co.jp/>)にてご確認ください。
 - YAHOO! GyaO!
 - *大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンド(<http://gya.yahoo.co.jp/>)で放送。

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformulanet/>)

102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail: media@superformulanet

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135